

和の光

宝塚市立西谷中学校



「道」

自分には自分に与えられた道がある。天与の尊い道がある。どんな道かは知らないが、ほかの人には歩めない。自分だけしか歩めない、二度と歩めぬかけがえのないこの道。広い時もある。せまい時もある。のぼりもあればくだりもある。坦々とした時があれば、かきわけかきわけ汗する時もある。

この道が果たしてよいのか悪いのか、思案にあまる時もある。なぐさめを求めたくなる時もある。しかし、所詮はこの道しかないのではないか。

あきらめろと言うのではない。いま立っているこの道、いま歩んでいるこの道、ともかくこの道を休まず歩むことである。自分だけしか歩めない大事な道ではないか。自分だけに与えられているかけがえのないこの道ではないか。

他人の道に心をうばわれ、思案にくれて立ちすくんでいても、道は少しもひらけない。道をひらくためには、まず歩まねばならぬ。心を定め、懸命に歩まねばならぬ。

それがたとえ遠い道のように思えても、休まず歩む姿からは必ず新たな道がひらけてくる。深い喜びも生まれてくる。

松下幸之助 著「道をひらく」より

皆さんは松下幸之助（まつした こうのすけ）さんを知っていますか？

松下さんは、パナソニック（旧社名：松下電器産業、松下電器製作所、松下電気器具製作所）を一代で築き上げた人です。彼は、1894年〈明治27年〉和歌山県で生まれ、1989年〈平成元年〉ご逝去されています。

松下さんは、実業家であるとともに発明家でもあり、事業の実績はもちろんのこと経営理念や人生哲学を生み出し、多くの方の模範となっています。松下さんはいろいろな名言を残されています。その中の一つに「道」があります。

中学3年生は義務教育最後の年です。これからは、自分で歩む道を切りひらかねばなりません。じっと待っていても道はひけません。いつも順風満帆に物事が進めば良いのですが、時には思い悩むことや立ち止まったり、逃げ出したくなったりするかも知れません。そんな時には「道」を思い出して、諦めることなく前を向いて歩み続けて欲しいと願います。

松下さんが残した他の名言もいくつか紹介します。

- ・失敗したところでやめてしまうから失敗になる。成功するところまで続ければそれは成功になる。
- ・人より一時間余計に働くことは尊い。努力である。勤勉である。だが、いままでよりも一時間少なく働いていままで以上の成果を挙げることもまた尊い。そこに人間の働き方の進歩があるのではないだろうか。
- ・誰でもそうやけど、反省する人は、きっと成功するな。本当に正しく反省する。そうすると次に何をすべきか何をしたらいいかということがきちんとわかるからな。それで成長していくわけや、人間として山は西からも東からでも登れる。自分が方向を変えれば、新しい道はいくらでもひらける。

校長 筒井 啓介

■「巨大力ボチャ」を収穫しました（1年生）



仲間と協力して収穫しました

1年生が「巨大力ボチャ」を収穫しました。小さなものから大きなものまで色や形は異なりますが、たくさん収穫することができました。大きなものでは20kgを超えるものもあります。収穫したカボチャはハロウィンの装飾に使うそうです。（作品は文化発表会と収穫祭で展示予定です）

（8月29日）



体重計で重さを計りました（21.05kg）



大きさや形の異なるカボチャを収穫

■図師先生が淡路島バーガーショップ店員に！？



笑顔もサービスします



3名で連携しながら調理・販売します



淡路島バーガー（三田有馬富士店）

2年生担任の図師先生が夏休みに社会体験研修として、淡路島バーガーショップで調理・接客の研修を行いました。その様子を見学に行ってきましたので、紹介させていただきます。

お店を訪問すると、既に4名の家族ずれのお客さんが美味しそうに淡路島バーガーを食べながら談笑されていました。夏休みということもあり、12時頃から2時頃にかけてたくさんのお客さんが来店されるようです。カウンター越しに厨房を覗くと、帽子をかぶって大きな玉ねぎを調理している図師先生がいました。突然の訪問に驚いたようです。

店長さんにお話を伺うと、「笑顔で真剣に働いていますよ」とお褒めの言葉をいただきました。続けて、図師先生にも話を聞くと、「2年生は9月にトライ・やるウィークを行います。私が中学生の時にはトライ・やるウィークは始まっていなかったけれど、2年生がワクワク・ドキドキしながらトライ・やるウィークに臨むことを自分自身も体験し、学んだことを今後に活かしたいです」と語ってくれました。

私たち教師も異業種から学ぶことはたくさんあります。積極的に社会に出て、いろいろな経験を積み、そこで学んだことを教育の世界で活かせるといいなと改めて感じました。（8月8日）

■「書道パフォーマンスの取組み」が始まりました



協力して紙をカットします



テープで紙を貼り合わせます



先輩の説明を聞いて作業を進めます



慎重に作業を進めます

文化発表会で行う書道パフォーマンスの取組みが始まりました。各学年の書道パフォーマンス実行委員が、書く文字の内容やBGMで使う曲などを考えてくれました。2学期になって最初の取組みとして、紙の貼り合わせを行いました。2・3年生はこれまでの経験を活かしながら手際よく作業を進めていました。また、1年生も先輩からのアドバイスを受けながら、全員の力を合わせて最後まで作業に取り組んでいました。文化発表会での演技披露を楽しみにしています。（9月4日）